

加太春日神社 例大祭 えび祭り

渡御祭の説明書

**2009 年
5 月 16 日
第 3 土曜日
齋行決定**

〒640-0103

和歌山市加太 1 3 4 3
加太春日神社社務所

電話・FAX 073(459)0368

えび祭り（加太春日神社例大祭）

本殿（国指定の重要文化財）の飾りに鯛ではなく伊勢えびが彫刻されていることからわかるように、往時、加太では伊勢えびが多く獲れ、例大祭の当日に神社のお供えはもちろんのこと、各家庭でも神棚にお供えし、祝宴に用いたので、このように呼ばれるようになったという。

現在、例大祭（神事）は変わることなく毎年五月二十日で、渡御祭（えび祭り）は五月の第三土曜に斎行されているが、古くは旧暦の四月二十日に斎行され、この日からえび漁も解禁になったと言われている。今は収穫量が少なくなったのでえびの代わりに柏餅でお祝いしている。

当神社の渡御祭（神輿に神様をお遷ししてお渡しいただく祭り）の起源は定かではないが、慶長二年（1597年）に「獅子頭二頭奉納」の記録があるのでこの頃から行事として獅子舞が行われていたことになる。

尚、明治初年ごろから獅子舞のほかにも大漁幟（たいりょうのぼり：約7メートル）を台の上に立て祇園囃子に合わせて町中を練り歩き、夜は幟の代わりに帆柱を立てて、灯明を点した提灯を吊したといい、それは勇壮でみごとなものであったと記されている。この「幟上げも」電線が張られるようになってから途絶えていたが、大正十二年に祭り復興に奔走した初代宮司によって現行の神輿渡御が斎行されるようになったのである。以来、加太地区民の援助のもとに第二次世界大戦の四年間を除いてほとんど毎年斎行されていたが、昭和五十年に部外者とのトラブルが原因で途絶えてしまった。

しかし、伝統芸能の消滅を嘆く声が高まりつつあった時、和歌山県の「ふるさと祭り運動」の呼びかけがあり、これを機に昭和六十年「渡御実行委員会」が組織され、永続的な行事にするにはどうしたらよいかを審議して綿密な計画のもとに復興された。平成五年に会社勤めが多くなった現状をふまえ例大祭から渡御祭を切り離して、第三土曜に渡御祭を斎行することになり現在に至っている。

当地は漁家が多く「板子一枚下は地獄」と言われる厳しさがあったため、信仰心が篤く神様をお慰めするとともに、悪を祓い身を清めようとする気持ちから年に一度のお祭りに、氏神様を自分たちの住んでいると

ころに親しくお迎えしようと渡御祭を斎行するのである。

そのため、悪を祓う獅子舞や薙刀振りは重要な役割を果たし、前日の宵祭りにはシートを敷いて家の中で舞ってもらい、無病息災を願うという風習が残っている。また、薙刀振りは必ず神輿の前に供奉して、祓い清めながら渡御することになっている。

渡御の行列は先触れの宝太鼓を先頭に天狗・金棒・子供屋台・ギャル御輿・鬼舞・獅子舞・榊台・唐櫃・薙刀振り・稚児行列・錦蓋など総勢600人が参加し、出御から還御まで8時間かけて加太の町中を巡幸する。

このうち他所と違った特徴のあるものを書き記すと

『神輿』 4本の担い棒を大人30人（と交代要員30人）で担くが、その担き方は威勢がよく、指揮者の指示によって「千歳楽（せんざいらく）」、「万歳楽（ばんざいらく）」のかけ声とともに神輿を放り上げて、上げた手より上にあがらない時は「もう一丁！」と掛け声が飛ぶ。肩に置く状態は休むため、そのときは「通せ」「通せ」の掛け声で進んでいく。

『鬼舞』 桃太郎に征伐された鬼が、桃太郎の指揮で、邪気祓いの舞を舞うというもので初めは御幣を背負っていたが今は「雷神」の格好をしている。
鬼は百面の一つで、鬼が持つ棒の先についた房で泥をかけて貰うと魔除けになる、と言われていたが喧嘩のもとになることから、この鬼舞が始められた。よくみると泥をかけている所作が舞の中に取り入れられている。

『獅子舞』 当地の獅子舞は男獅子（おんじし）と女獅子（めんじし）の二種類あって、男獅子は「高場（たかば）」と呼ばれる約3メートルの2本の丸太の上で舞う勇壮なもので、女獅子は高場を使わず蝶や花に戯れる優しい獅子舞である。
当地の獅子舞は太鼓ではなく笛に合わせて舞う獅子舞で、特に女獅子は笛だけで舞うという特色あるものである。

『薙刀』 薙刀は各自の身長に合わせて毎年作り直される。
 細い紐を丹念に巻き付け先に鋼の剣を付けるので、観衆にケガをさせないように危険な時は自分の体で受けるように指導されている。
 薙刀を水車のように回すことから始めて次々に演技に入っていくのだが、手を挙げて手のひらの上、肘の上、腰を曲げて背中の上、首に回してから股の方にぬく等、幾種目も落とすことなく一気に行う者に拍手が送られ、特に空高く投げて回転している薙刀を受け止め、次々と演者が代わっていく時などは絶大な拍手が送られる。

■平成21年度 渡御祭列順及び出発時間割（予定）

1	宝太鼓	10:58～11:00
2	天狗・金棒	11:00～11:01
3	子供屋台・子供鬼舞・ギャル神輿・かぐら	11:03～11:06
4	獅子舞	11:06～11:10
5	榊台	11:10～11:11
6	唐櫃	11:11～11:12
7	薙刀	11:12～11:14
8	賽銭箱	11:14～11:16
9	神輿	11:16～11:18
10	神官・舞姫	11:18～11:20

以下順次指揮者の呼び出しに従い、出発

11 稚児 12 錦蓋 13 氏子総代・参列者

■渡御祭巡幸予定時刻 [参考]

出御祭祭典 9:30 境内集合：10:30 加太春日神社出御：11:00
 消防署前出発 11:05 多目的グラウンド御旅所到着：先頭 11:35
 最後尾 12:10 多目的グラウンド出発 13:10 新出浜御旅所到着：先頭
 14:00 最後尾 14:40* 新出浜御旅所出発 15:50 加太春日神社還
 御：先頭 16:30 最後尾 17:20